

今月の



隣に伝えたい 新たな言葉と概念

【SS-MIX】

- 英 Standardized Structured Medical Information eXchange
- 和 厚生労働省電子的診療情報交換推進事業
- 略 SS-MIX
- 類 SS-MIX2, 標準化ストレージ

【用語解説】

SS-MIXは、「厚生労働省電子的診療情報交換推進事業」において策定された、医療機関を対象とした医療情報の交換・共有のための規約のことである。各医療機関に蓄積された膨大かつ複雑な医療情報を効率的に分析・可視化するため、標準的な形式の情報出力を可能にすることを特徴とする。現在は、標準化の向上と現状に即した実装機能の改変を行い、「SS-MIX2 Ver.1.2d」としてまとめられている。

電子カルテシステムは、医療機関の規模（運用面やコスト面等）によりさまざまなメーカー・種類が導入されている。各医療機関に蓄積された医療情報はデータ互換性の問題等から統合的に分析することは困難であった。

SS-MIX2は、処方、検査結果、病名、患者基本情報等のデータを、国際標準規格の「HL7形式」で出力可能な電子カルテシステムであれば、メーカーに関係なく「SS-MIX2標準化ストレージ」に蓄積することを可能にする仕組みである。標準的な形式で蓄積された患者基本情報や処方歴、検査結果歴等のデータは、報告書作成、紹介状作成、災害時のバックアップ、各種研究への活用など、さまざまな利用が可能になる。

「国立病院機構診療情報集積基盤」(NCDA)においてもSS-MIX2を採用し、既に41病院のデータ収集を2016年1月診療分より開始している。(2018年中に60病院まで拡充予定)

【その他必要事項（本用語とつながりの深い専門分野、関連学会など）】

(参考文献)

日本医療情報学会：<http://www.jami.jp/jamistd/ssmix2.php>

(関連学会等)

日本医療情報学会、保健医療福祉情報システム工業会、日本HL7協会、SS-MIX普及推進コンソーシアム、医療情報標準化推進協議会

(国立病院機構本部 情報システム統括部 栢間 貴宏)

本誌440pに記載